

北商連第50回定期総会発言

制度融資を拡充して中小業者の商売の応援を

尾谷 幸子(副会長)



▲総会で発言する尾谷副会長

札幌中部民商は、この間金融要求に取り組みながら、融資を執行して明るく元気に商売を続ける会員・会外業者を応援してきました。

今年の総会で新しく理事になった小森さんは、カメラマンです。今までは学校の行事等の写真を撮影してきましたが、このままではいずれ仕事がなくなってしまうという危機感を感じていました。そうした中で、新たにプライベート事業へ参入するチャンスがやってきました。従来仕事のやり方ではなく、営業・企画・提案等幅広く進めていかなければならず、そのためには一定の資金も必要になってきます。すでに日本政策金融公庫から2回借りた経験があり、現在も返済していた実績もあったので、3回目の申し込みをしようと民商に相談してきました。

2期分の申告書や決算書、事業計画書等を作成しましたが、なかなか小森さんの不安は解消されません。「面接で質問攻めにあつたらどう答えよう」「事業計画も見ないで否決されてしまうのでは」とマイナス面ばかりが頭に浮かんできました。春の運動・確定申告時期という事もあり、会長が事務所に来ていたので、思いきって相談したところ「マイナス面は話さず、プラスの部分で堂々と自信を持って話す事」というアドバイスをもたらしてから小森さんの気持ちが変わりました。ドキドキして臨んだ面接では、難しい事は聞かれず、今後の事業展開等を聞かれただけで、あつという間に終了。公庫からは「希望に沿う形で進めます」と言われました。面接を終えた安堵感と結果が出ていない不安が入り混じる中、3・11集会・集団申告では受付の手伝いをしながら活動に携わっていました。申告を終え自宅に帰ると公庫からの通知が届いていました。ドキドキしながら封筒を開けると「融資実行」の結果に、この喜びを急いで伝えようと民商の事務所に向かいました。ちょうど集会の後だった事もあり、役員も事務所にいたので、「融資が決まりました。ありがとうございます」と報告する事ができました。会長から「良かった、おめでとつ」と言われ熱く握手ができた事が

何よりも嬉しい、と小森さんは語っています。

こうした経験を4月の中部民商定期総会で「困った事は一人で悩まず民商に相談した方がいい」と、多くの会員・会外業者に伝えていきたい」と発言しました。

現在小森さんは、新役員として毎月の支部の集まりや5月に北見で開催された全道業者青年交流会にも参加して、民商運動にも積極的に関わっています。

3月11日に起きた東日本大震災は、北の歓楽街ススキノにも大きな被害をもたらしました。3・4月はこの会社でも歓迎会の時期で、年末年始に次いで人が出てくる時期です。ところが今年は、震災による自粛ムードで、ほとんどの会合がキャンセルされてしまいました。さらに道外からのお客もほとんど来なくなり、ススキノ全体が死んだような状態に陥っていました。多くの会員から「今までで最悪の売上」「このままではお店を続けられない」と悲鳴があがってきています。

北海道や札幌市では、震災関連支援資金を創設して、中小業者を支援しよう動き出しました。本会理事でススキノの支部役員を務める内海さんから「北海道の制度を活用したい」と相談があり、事務局と一緒に道庁の金融課を訪問。制度の内容や流れについて聞きながら、銀行に申し込みました。すでにセーフティネット緊急保証制度を活用していた事もあり、銀行からは「今回の制度を使って借換にしましょう。こちらから保証協

会には話を進めていくので、書類を提出して下さい」と言われ、一週間かからずに実行されました。

融資が実行された事を民商ニュースで紹介すると、ススキノ支部のママさんから「私も借りられるだろうか」「この制度を活用したい」と問い合わせが入りました。

料飲業者はどこも厳しく、申告所得も少額で提出しているため、返済財源が出てきません。だからと言ってこのまま黙って廃業するわけにはいきません。決算書や事業計画書を工夫しながら、返済できる根拠を示し「カネはなくてもヤル気はある」「厳しいススキノで何十年もお店を続けてきた事が何よりも実績」「自分の店だけが儲かる事を考えているのではない。ススキノ全体が元気になるためにもお店を続けたい」と夢・展望・意気込みを語りながら融資を勝ち取っています。

ススキノ支部で会費集金をしている支部役員の内海さんは、会員から「売上が下がってたいへん」という言葉をよく聞きます。内海さんは民商ニュースを見せながら「毎週の商工新聞やニュースに融資等の情報が載っているんだよ。ちゃんと読んでね」と紹介しています。さらに「私も銀行から融資を受けて大変だけど頑張っている。みんなで勉強して話し合えたらいいよね」と班会の呼びかけをしながら、一人ひとりの会員を励ましています。